

臨床研究に関する情報公開について

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	補聴器外来に受診した補聴器装用経験者の検討		
実施予定期間	研究実施許可日 ～ (西暦) 2023年12月31日		
実施診療科	耳鼻咽喉科		
研究の審査等	臨床研究審査委員会審査日	2023年6月12日	
	研究実施承認日	2023年6月12日	
対象となる方	対象期間内に、けいゆう病院耳鼻咽喉科で補聴器外来に受診された患者さん		
対象期間	(西暦) 2018年1月1日～(西暦) 2022年1月31日		
研究責任者	所属	耳鼻咽喉科	氏名 山田浩之
研究の意義	近年我が国では超高齢社会における高齢者の増加に伴う難聴患者の増加や認知症予防のための対策などにより補聴器の需要が高まってきています。また軽度中等度難聴者への補聴器購入費の公的助成事業が拡まってくると、近い将来補聴器の購入価格は低下し、より身近なものとなり、補聴器の使用者数は大きく増加することが予測されています。一方で一部補聴器販売機関において、不適切な器種販売や調整が行われていたとの報告も過去にあり、今後補聴器の使用者数が増加した際に、使用効果が不十分な補聴器を購入する高齢者が増加してしまつては本末転倒であり、限られた医療資源や財源を活用する上での大きな問題となりうる可能性があります。そこで今回は他機関で補聴器を購入したものの、装用効果に不満を持ち、改善目的に当院補聴器外来に受診した補聴器装用経験者について調査・検討し、問題解決のための一助とします。		
研究の目的	当院補聴器外来に通院している補聴器装用経験者の実態を調査する。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、集められた情		

	報を検討し、論文を作成します。
研究に使用するもの	診療録から得られる情報から個人を特定できる情報を削除した上で使用します (年齢、平均聴力レベル、当院補聴器外来に受診した理由、きこえについての質問紙2002(装用前)の平均点、聴覚リハ完遂率、適合率、補聴器の購入率、補聴器全体の満足度)。
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定ですが、個人を特定できる情報として公表されることはありません。
個人情報の保護	対象者となる方の情報使用に関しては、個人を特定できる情報を削除した上で研究責任者の責任のもと厳重に管理・保管します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。 当院での実施にあたり、必要な費用はありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途臨床研究審査委員会の審査を受け、院長の許可を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
お問い合わせ	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 電話 045-221-8181(代表) 内線2130 耳鼻咽喉科 山田 浩之